

平成 2 8 年 度  
事 業 報 告

一般社団法人 日本工業用水協会

## 目次

<b>1. 会 務</b> .....	1
(1) 会員の現況 .....	1
(2) 総会 .....	1
(3) 理事会 .....	3
(4) 監事会 .....	5
(5) 協会運営委員会 .....	5
<b>2. 工業用水道事業の推進</b> .....	6
(1) 平成29年度工業用水道事業施策に関する要望 .....	6
<b>3. 事 業</b> .....	7
(1) 調査研究業務 .....	7
(2) 出版に関する事業 .....	11
(3) 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業 .....	13
(4) 工業用水道保険事業 .....	14

## 1. 会 務

### (1) 会員の現況

平成29年3月31日現在の会員は、下表に示すとおりである。

会 員 別	会 員 数	28年度	
		入 会 者	退 会 者
正会員	136	0	1
事業者	118	0	0
利用者	18	0	1
特別会員	40	1	1
関連産業会員	36	2	2
名誉会員	5		
計	217	3	4

顧問：4名（内名誉会員が3名）（議決権対象は212会員）

### (2) 総会

#### (2) . 1 臨時総会

日 時 平成28年4月22日（金）13：30～13：45

場 所 日本工業用水協会 会議室

会員数 218会員（平成28年4月1日現在）

出席会員 2社員

代理出席会員 12社員

委任状提出会員 121社員

議決権行使会員 53社員

計 188社員

次 第 挨拶

議 題

議案 理事6名の選任（案）

概 要

業務執行理事の本郷専務理事から、定時総会で決議された総会運営要領に基づいて、会長代理の千葉県水道局石井工業用水部次長を議長として提案し、出席会員全員から異議なしの発言があり、石井工業用水部次長が議長に選出された。

議長から、議事の開会宣言後、出席状況について事務局に報告を求め、臨時総会の成立が報告された。引き続き議事録署名人の選任について、議長一任の発言に基づき、議長のほか、理事の一般財団法人造水促進センター平井専務理事、株式会社クボタパイプシステム事業推進部藤岡担当部長を議長から指名した。

議長の求めにより、本郷専務理事から現役員の現職退任等に伴う理事辞任による、後任の理事6名の選任を求めた。

議長は、役員候補者ごとに決議を行い、それぞれ異議なく承認可決され、候補者全員が原案のとおり選任された。

理事 田谷 徹郎殿、小松 一彦殿、長崎 栄一殿  
勝山 均殿、亀山 充殿、池田 安正殿

(2) . 2 第4回定時総会

日 時 平成28年6月6日(月) 14:30~17:00  
場 所 東京都文京区湯島(東京ガーデンパレス 3階 平安の間)

会員数 231会員(平成28年5月13日現在)

出席会員数 出席会員 12社員  
代理出席会員 18社員  
委任状提出会員 107社員  
議決権行使会員 42社員  
計 179社員

来 賓 経済産業省大臣官房 中尾審議官  
経済産業省産業施設課 津村課長 ほか1名  
総務省公営企業経営室 石黒室長 ほか1名  
国土交通省水資源政策課 荒井課長  
関東経済産業局企業立地支援課 長島課長補佐  
(一社)日本水道工業団体連合会 仁井専務理事

次 第 会長挨拶  
来賓祝辞  
会長表彰  
議 題

I 議案

- 第1号議案 平成27年度事業報告(案)
- 第2号議案 平成27年度決算報告書(案)及び監査報告書
- 第3号議案 定款の変更(案)
- 第4号議案 役員を選任(案)

II 報告事項

- (1) 公益目的支出計画の終了
- (2) 平成28年度事業計画及び平成28年度収支予算書
- (3) 平成29年度工業用水道事業施策に関する要望事項
- (4) 代表理事及び役員の内職期間並びに選定・選任等及びブロック変更等
- (5) 表彰候補者選考基準の改正
- (6) 論文賞選考要領の改正
- (7) 特定個人情報等取扱規程の制定
- (8) 工業用水道施設設計指針改訂検討小委員会報告

講演 東京都市大学名誉教授 協会顧問 綾 日出教 様

概 要

副会長の長崎愛知県企業庁長の挨拶に引き続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省中尾大臣官房審議官、総務省安田自治財政局長、国土交通省水管理・国土保全局北村水資源部長のご祝辞を賜った。このほかご来賓として出席いただいた方々等のご紹介を行った。引き続き会長表彰として功労賞17名、勤続賞64名のうち、当日参加の方々の表彰状授与式が執り行われた。

長崎副会長が議長となって、議事の開会宣言後、議長から出席状況について事務局に報告を求め、総会成立が報告された。引き続き議事録署名人について、議長一任の発言に基づき、議長のほか一般財団法人造水促進センター平井専務理事、大成機工株式会社鈴木代表取締役社長を議長から指名した。

各議案について、議長から事務局に議案ごとの説明を求め、本郷専務理事が説明を行い各議案の承認を求めた。審議が行われ議案ごと決議され、すべて原案どおりに了承された。

最後に、東京都市大学名誉教授協会顧問綾日出教様から「工業用水の統計」について講演が行われた。

なお、選任された役員は次のとおり。

理事 岩井 昭則殿、大河原 昭男殿

(3) 理事会

(3) . 1 第21回理事会（書面審議）

日 時 平成28年3月31日

議 題 平成28年度臨時総会の招集に係る提案

定款第36条に基づき、役員に対し吉田会長名で、臨時総会招集承認に係る書面決議を提案し、3月31日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

(3) . 2 第22回理事会（書面審議）

日 時 平成28年4月28日

議 題 代表理事（会長、副会長）の選定に係る提案

定款第36条に基づき、役員に対し本郷専務理事名で、代表理事（会長、副会長）選定承認に係る書面決議を提案し、4月28日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

代表理事 会長 田谷 徹 郎 殿

代表理事 副会長 小松 一 彦 殿

(3) . 3 第23回理事会（書面審議）

日 時 平成28年5月9日

議 題 代表理事（副会長）の選定に係る提案

定款第36条に基づき、役員に対し本郷専務理事名で、代表理事（副会長）選定承認に係る書面決議を提案し、5月9日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

代表理事 副会長 長崎 栄 一 殿

(3) . 4 第24回理事会

日 時 平成28年5月11日（水）14:00～15:00

場 所 東京都千代田区神田駿河台（TKP ガーデンシティー御茶ノ水 地下1階会議室）

出席者 会長（代表理事）千葉県田谷水道局長 ほかに25名

うち理事 12名 (総数 13名、平成28年5月11日現在)  
監事 2名 (総数 3名、平成28年5月11日現在)  
来賓 経済産業省産業施設課 津村課長 ほか1名  
次第 会長挨拶

来賓紹介  
議 題

#### I 議案

- 第1号議案 会計規則の改正 (案)
- 第2号議案 平成27年度事業報告 (案)
- 第3号議案 平成27年度決算報告書 (案) 及び監査報告書
- 第4号議案 定款の変更 (案)
- 第5号議案 役員を選定方法及び退任手続について (内規) の改正 (案)
- 第6号議案 特定個人情報等取扱規程 (案)
- 第7号議案 事務局長選任 (案)
- 第8号議案 入会の承認 (案)
- 第9号議案 会長表彰受賞候補者の選考 (案)
- 第10号議案 平成29年度工業用水道事業施策に関する要望事項及び実施 (案)
- 第11号議案 平成28年度第4回定時総会招集及び議題並びに議案概要 (案)

#### II 報告事項

- (1) 平成29年度以降の事務局執行体制について
- (2) 工業用水道施設設計指針改訂検討小委員会報告 (案)
- (3) 平成27、28年度のこれまでの事業経過報告

#### 概 要

会長の田谷千葉県水道局長の挨拶に続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省産業施設課津村課長からご挨拶をいただいた。引き続き同課矢口係長を紹介した。

田谷会長が議長となって議事に入り、事務局から各議案について説明を行い、各議案について質疑応答の後、全員異議なく原案のとおり了承された。

#### (3) . 5 第25回理事会 (書面審議)

日 時 平成28年6月17日

議 題 代表理事 (専務理事) の選定に係る提案

定款第36条に基づき、役員に対し田谷会長名で、代表理事 (専務理事) 選定承認に係る書面決議を提案し、6月17日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

代表理事 専務理事 岩 井 昭 則 殿

#### (3) . 6 第26回理事会 (書面審議)

日 時 平成28年8月4日

議 題 本郷秀昭前専務理事に対する役員退職手当の支給について

定款第36条に基づき、役員に対し田谷会長名で、役員退職手当の支給について書面決議を提案し、8月4日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領

し、書面による決議が成立。

(3) . 7 第27回理事会

日 時 平成29年1月31日 14:00～14:40  
場 所 TKP ガーデンシティ御茶ノ水 2階会議室  
出席者 会長（代表理事）田谷千葉県水道局長 ほかに23名  
うち理事11名（総数12名、平成29年1月13日現在）  
監事 2名（総数 3名、平成29年1月13日現在）  
来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 山本工業用水道計画官 ほかに1名  
次 第 会長挨拶  
来賓紹介  
議 題  
I 議案  
第1号議案 平成29年度事業計画（案）  
第2号議案 平成29年度収支予算書（案）  
II 報告事項  
(1) 研究大会及び研究発表会のあり方並びにこれらの運営について  
(2) 平成28年度のこれまでの事業経過報告  
(3) 各種委員会等報告について

概 要

会長の田谷千葉県水道局長の挨拶に続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省地域産業基盤整備課山本工業用水道計画官からご挨拶をいただいた。引き続き同課矢口係長の紹介を行った。

田谷会長が議長となって議事に入り、事務局から各議案について説明を行い、各議案について質疑応答の後、全員異議なく原案のとおり了承された。

(4) 監事会

日 時 平成28年4月25日（月）14:00～15:30  
場 所 日本工業用水協会 会議室  
出席者 福島県企業局 吉野工業用水道課長  
岡山県企業局 田中局長  
大成機工株式会社 鈴木代表取締役社長

概 要

定款第24条（監事の職務及び権限）に基づき、監事会で監事による平成27年度事業報告、決算報告書の監査が行われ、会長宛に、それぞれ適正である旨の監査報告書が提出された。

(5) 協会運営委員会

(5) . 1 平成28年度第1回協会運営委員会

日 時 平成28年4月22日（金）13:50～15:40  
場 所 日本工業用水協会 会議室  
出席者 委員長 千葉県水道局工業用水部石井次長 ほかに20名  
オブザーバー 経済産業省産業施設課 津村課長  
次 第 開 会

## 議 題

- 1) 前回議事録について
- 2) 第24回理事会提出議案について
- 3) 定款第36条（理事会の決議の省略）への対応について
- 4) その他

## 概 要

本郷専務理事の開会の挨拶に引き続き、経済産業省産業施設課津村課長から挨拶をいただいた。

石井千葉県水道局工業用水部次長が委員長となり、委員長挨拶に引き続き、次第に従い議題の審議が行われた。

その結果、前回議事録を含め、すべて原案どおり了承され、理事会にはかることとした。

### (5) . 2 平成28年度第2回協会運営委員会

日 時 平成28年12月21日（水）14：00～15：10

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 千葉県水道局工業用水部石井次長 ほかに20名

オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 山本工業用水道計画官

次 第 開 会

## 議 題

- 1) 協会運営委員会（第1回）議事録（案）について
- 2) 第27回理事会提出議案について
- 3) 研究大会及び研究発表会のあり方並びにこれらの運営について（案）
- 4) その他

## 概 要

岩井専務理事の開会の挨拶に引き続き、経済産業省地域産業基盤整備課山本工業用水道計画官から挨拶をいただいた。

石井千葉県水道局工業用水部次長が委員長となり、委員長挨拶に引き続き、次第に従い議題の審議が行われた。

その結果、前回議事録を含め、すべて原案どおり了承され、理事会にはかることとした。

## 2. 工業用水道事業の推進

### (1) 平成29年度工業用水道事業施策に関する要望

日 時 平成28年7月27日（水）

参加者 会長千葉県田谷水道局長、愛知県原田技術監、ほか12名

## 概 要

第24回理事会で承認された要望事項等について、正副会長、役員、事務局代表で構成する要望団により、経済産業省、総務省、国土交通省水管理・国土保全局等へ要望を行った。なお、経済産業省では、星野審議官、山本工業用水道計画官等との意見交換を行った。



### 3. 事業

#### (1) 調査研究業務

##### (1) . 1 工業用水道事業研究大会

日 時 平成28年10月27日(木)、28日(金)

場 所 メルパルク名古屋(2階 瑞雲西)

参加者 160名

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 山本工業用水道計画官 ほか3名  
中部経済産業局地域振興課 新川課長  
総務省公営企業経営室 石黒室長 ほか1名

##### 概 要

開会挨拶の後、愛知県長崎公営企業管理者から歓迎の挨拶があり、次いでご来賓としてご出席をいただいた総務省石黒公営企業経営室長並びに経済産業省山本工業用水道計画官からご挨拶をいただいた。事務局より大会の運営方法を報告し了承を得た。

1日目の午前中は、指定課題Ⅰの「安定給水への対応」及び指定課題のⅡ「省エネルギー対策等への取組状況」について、三重県企業庁工業用水道事業課森上課長補佐が座長となって進められた。最初に事務局からアンケート結果の報告、次いで横浜市、新潟県、愛知県、北九州市から事例紹介が行われ、質疑・意見交換が行われた。

午後は、工業用水道における「費用対効果分析」と「官民連携」について水道技術経営パートナーズ株式会社山口岳夫代表から講演をいただいた。

その後、関連産業会員の技術情報発表として、クボタ、積水化学工業、日水コン、日本ヴィクトリックからそれぞれ発表が行われた。

その後、指定課題Ⅲの「資産維持費導入に伴う対応等について」及び「減量や撤退に係る対応等」について、愛知県企業庁水道事業課宇野課長が座長となって進められた。指定課題Ⅲ及びⅣについてアンケート結果を報告、続いて静岡県、大阪広域水道企業団、山口県から事例紹介が行われ、質疑・意見交換が行われた。

その後、自由課題Ⅰ～Ⅷについて、事務局のアンケート結果の報告に次いで、千葉県、茨城県から事例紹介があり、事前質問を含め質疑応答・意見交換が行われた。最後に、経済産業省、総務省からアドバイス、講評等いただいた。

2日目は、トヨタ自動車株(元町工場)及び安城浄水場をそれぞれ視察し、2日間の大会を盛会裡に終了した。

##### (1) . 2 第52回研究発表会

日 時 平成29年2月27日(月)、28日(火)

場 所 東京都千代田区市ヶ谷(自動車会館 大会議室)

参加者 一般参加者約90名、発表者等35名

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 山本工業用水道計画官

##### 概 要

小泉編集委員長の挨拶に続き、経済産業省山本工業用水道計画官からご挨拶をいただいた。その後、会長代理小泉委員長から、論文賞「浄水発生土リサイクル技術開発と継続的な生産性向上への取組」の岡山市水道局浄水課と「千葉県工業用水道事業施設更新・耐震化長期計画の紹介」の千葉県水道局工業用水部施設設備課にそれぞれ表彰がなされた。続いて日刊工業新聞社賞が「水道鋼管用小型内面塗装機の開発」のJFEエンジニアリング株式会社と「推進・シールド併用型非

開削工法により構築された「さや管内への管布設工法の開発」の株式会社栗本鐵工所へ日刊工業新聞社小松総務部長から賞状等が贈られた。

続いて研究発表に入り、上記受賞記念講演のほか21件の研究発表があり活発な質疑応答が行われた。

(1) . 3 経営委員会・技術委員会（合同委員会）

日 時 平成28年4月26日（火）14：00～16：20

場 所 TKP ガーデンシティ御茶ノ水 地下1階会議室

出席者 経営委員会委員長 茨城県企業局蓼沼業務課長、技術委員会委員長 お茶の水女子大学大瀧教授 ほか委員等28名

オブザーバー 経済産業省産業施設課 津村課長 ほか3名  
総務省公営企業経営室 橋村事務官

次 第 開 会

委員の紹介

議 題

1) 平成27年度活動報告（報告事項）

○工業用水道施設設計指針改訂検討小委員会について

2) 平成28年度工業用水道事業研究大会について

(1) 検討課題の選定について

(2) スケジュール・開催（案）

3) 平成29年度工業用水道事業施策要望について

(1) 施策要望項目等について

(2) 要望の手順について

4) その他

概 要

経済産業省産業施設課津村課長、総務省公営企業経営室橋村総務事務官からそれぞれご挨拶を頂いた後、蓼沼経営委員長、大瀧技術委員長の進行により、各議題について、審議が行われた。

議題1)及び2)までの審議を大瀧技術委員長の進行で行うこととし、事務局から1)につて報告し、原案通り報告内容で承認された。

議題2)の研究大会検討課題について審議の結果、指定課題として1. 安定給水への対応（自然災害、更新工事、水質障害等）について、2. 工業用水道事業における省エネルギー対策等への取組状況について、3. 資産維持費導入に伴う対応等について、4. 減量や撤退に係る対応等についての4件が、自由課題として工業用水道施設の防犯、防護対策の強化等取組みについて、ほか7件が選定された。

議題3)の審議を蓼沼経営委員長の進行で行い、平成29年度施策要望案をとりまとめ、理事会に諮ることとした。

(1) . 4 編集委員会（後述の編集委員会第5回参照）

日 時 平成28年12月8日（木）

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか18名

概 要

平成28年会誌掲載の論文の中から論文賞の選考を行うとともに、第52回研究発表会（平成29年2月）の運営、応募発表及び日刊工業新聞社賞の審査、プログラム編成を行った。

(1) . 5 工業用水道施設設計指針改訂検討小委員会

(1) . 5① 工業用水道施設設計指針改訂検討小委員会（平成28年度第1回）

日 時 平成28年10月20日（木）14：00～17：20

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 大瀧委員長 ほか22名

オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 武田係長

次 第 開 会

委員の紹介

議 題

1) 改訂素案について

2) その他

概 要

事務局の挨拶に引き続き、出席委員の紹介を行い、委員長挨拶に続き、資料の確認後、担当委員から改訂素案について、説明いただいた。

次回最終委員会の後、上位の経営・合同委員会に報告と意見聴取を兼ねて、原案提出を行い、今年度中の原案調整を完了したい旨事務局から説明した。

(1) . 5② 工業用水道施設設計指針改訂検討小委員会（平成28年度第2回）

日 時 平成29年1月23日（月）14：00～17：00

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 大瀧委員長 ほか22名

オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 山本工業用水道計画官 ほか2名

次 第 開 会

議 題

1) 前回議事録の確認について

2) 改訂案について

3) その他

概 要

事務局の挨拶に引き続き、今回出席の委員等の紹介を行った。

委員長の挨拶に引き続き、資料の確認後、担当委員から改訂素案について、説明いただいた。

上位の技術・経営合同委員会には、委員会後の修正版をお送りし、中間報告を行うとともに、意見聴取を行うことを確認した。

(1) . 6 関連産業委員会

(1) . 6 ① 関連産業委員会（平成28年度第1回）

日 時 平成28年6月28日（火）16：00～16：40

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長代理 日本ダクティル鉄管協会横道事務局長 ほか委員15名

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 山本工業用水道計画官

次 第 挨 拶

議 題

1) 平成27年度事業報告・収支決算、平成28年度事業計画・収支予算について

- 2) 工業用水道事業研究大会における関連産業会員による技術情報の発表について－運営方法（案）－
- 3) その他

#### 概 要

横道委員長代理の挨拶に引き続き、ご来賓の経済産業省地域産業基盤整備課山本工業用水道計画官から挨拶を頂いた。引き続き配付資料の確認を行い、各議題について委員長が議事進行を行い、各議題の審議が行われた。

事業・会計報告については、平成27年度関連産業委員会事業報告（案）及び収支決算報告（案）、平成28年度関連産業委員会事業計画（案）及び収支予算（案）がそれぞれ原案どおり了承され、第2回目の委員会を8月18～19日に北九州市上下水道局の協力のもと、工業用水道施設の視察及びユーザーの視察が確認された。

工業用水道事業研究大会における関連産業会員の技術情報の発表及び運営方法については、原案どおりで了承された。また、その他に関連する議案として、会誌「工業用水」へ原稿執筆のお願いについて及び、第52回研究発表会について事務局から説明を行った。

#### (1) . 6 ②関連産業委員会（平成28年度第2回）

- 日 時 平成28年8月18日（木）、19日（金）  
 場 所 北九州市 ステーションホテル小倉  
 出席者 本山委員長ほか20名  
 来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 山本工業用水道計画官 ほか3名  
 次 第 開 会  
 挨拶  
 講 演（山本工業用水道計画官）  
 議 題
- 1) 前回議事録の確認について
  - 2) 事業研究大会での技術紹介、展示等について
  - 3) 会誌「工業用水」巻頭言の原稿ご執筆のお願いについて
  - 4) その他、協会事業について

#### 概 要

北九州市上下水道局のご協力を得て1日目は、本城浄水場及びビジターセンターを視察した。

委員会は、地元北九州市上下水道局谷水道部長から歓迎の挨拶があり、ご来賓として出席いただいた経済産業省地域産業基盤整備課山本工業用水道計画官から、ご挨拶と工業用水道を取りまく最近の動向等についてご講演をいただいた。その後、本山委員長の進行のもと、各議案について事務局が説明を行い審議が行われ、承認・報告された。

2日目は、新日鐵住金八幡製鐵所（戸畑工場）等の見学を行い終了した。

#### (1) . 7 その他

##### (1) . 7 ①情報の提供関連

平成28年9月に、同年3月末時点の工業用水道事業者における資機材の備蓄情報を収集整理し、事業者会員はじめ全国の工業用水道事業者、経済産業省及び（独法）水資源機構に情報提供を行った。また、昭和52年から平成27年度末までの工業用水道料金の推移を収集整理し、事業者会員を中心に情報提供を行った。

(1) . 7 ②水道分野における官民連携推進協議会  
(厚生労働省、経済産業省、日本水道協会との共催)

概 要

厚生労働省と経済産業省が連携し、水道事業者等と民間事業者との間におけるマッチング促進を目的とした「水道分野における官民連携推進協議会」を、厚労・経産両省主催、日水協・工水協共催で開催した。

開催状況

第1回協議会	平成28年8月22日(月)	都内	経済産業省本館	参加120名
第2回協議会	平成28年10月5日(水)	名古屋市内	愛知県庁	参加100名
第3回協議会	平成28年12月19日(月)	仙台市内	仙台第二合同庁舎	参加90名
第4回協議会	平成29年2月3日(金)	福岡市内	福岡合同庁舎	参加120名

(2) 出版に関する事業

(2) . 1 編集委員会

(2) . 1 ①編集委員会(第1回)(平成28年度)

日 時 平成28年4月27日(水) 15:00~17:00

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等18名

オブザーバー 経済産業省産業施設課 木全課長補佐 ほか1名  
総務省公営企業経営室 木村課長補佐

次 第 開 会  
議 題

- 1) 5月号の確認、7月号・9月号の編集について
- 2) その他

概 要

新任委員の紹介の後審議に入り、「熊本地震」関連の被害と対応状況等について、掲載してはどうかとの意見があった。また、5月号を確認、7・9月号の査読確認、査読担当委員の調整を行った。なお、委員長より工業用水道が我が国の経済産業に重要な影響を与えていることから、国による支援の拡充、補助金の増大などを図ってもらうため、今後ユーザー側からの提案事例も考慮する必要があるのではないかとのご意見をいただいた。

(2) . 1 ②編集委員会(第2回)

日 時 平成28年6月27日(月) 16:00~17:00

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等22名

オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 山本工業用水道計画官 ほか2名  
総務省公営企業経営室 木村課長補佐

次 第 開 会  
議 題

- 1) 7月号の確認、9月号・11月号の編集等について
- 2) その他

概要

新任委員の紹介の後審議に入り、7月号を確認した。また、9月号の査読確認をした。11月号については査読担当委員を決定し、水質試験特集の記事投稿を進めるよう依頼した。

(2) . 1 ③編集委員会 (第3回)

日時 平成28年8月23日 (月) 15:00～16:30

場所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等20名

オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 山本工業用水道計画官 ほか  
1名

総務省公営企業経営室 木村課長補佐

次第 開会

議題

- 1) 9月号の確認、11月号・1月号の編集について
- 2) その他

概要

9月号を確認、11月号について、水質試験特集の査読担当委員を決定した。

1月号については査読担当委員を決定し、事故事例集については今後依頼作業に入る旨報告した。

(2) . 1 ④編集委員会 (第4回)

日時 平成28年10月19日 (水) 15:00～16:15

場所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等17名

オブザーバー 総務省公営企業経営室 木村課長補佐 (代 鶴原事務官)

次第 開会

議題

- 1) 11月号の確認、1月号・3月号・5月号の編集について
- 2) その他

概要

11月号を確認した。1月号の査読確認をした。3月号については工業用水道事業特集として、経産省、総務省、国交省に執筆依頼について説明した。5月号は新着原稿の査読担当委員を決定した。

(2) . 1 ⑤編集委員会 (第5回)

日時 平成28年12月8日 (木) 15:00～17:00

場所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等18名

オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 山本工業用水道計画官 ほか  
2名

次第 開会

議題

- 1) 1月号の確認、3月号・5月号の編集について

- 2) 論文賞の選考について
- 3) 第52回研究発表会について
- 4) その他

#### 概要

1月号の確認を行い、3月号・5月号の査読担当委員を決めた後、論文賞の選考について、審議の結果推薦のあった2編が選考された。

第52回研究発表会について、推薦のあった2件の日刊工業新聞社賞候補について検討し、了解された。また、プログラムを編成し、担当座長を決定した。

#### (2) . 1 ⑥編集委員会 (第6回)

日時 平成29年2月17日(金) 15:00~17:00

場所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等17名

オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 山本工業用水道計画官(代 矢口係長)

総務省公営企業経営室 木村課長補佐(代 鶴原事務官)

#### 次第開会議題

- 1) 3月号の確認、5月号・7月号の編集について
- 2) 第52回研究発表会について
- 3) その他

#### 概要

3月号を確認した。5月号について査読調整等検討し、了解された。7月号の編集について検討を行った。

#### (2) . 2 出版図書

- ① 会誌「工業用水」平成28年5月号~平成29年3月号 (No. 636~641)
- ② 会員名簿 (2016年度CD版)

#### (3) 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業

##### (3) . 1 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定

事業体委員で構成される「管・弁類等製造事業場認定委員会」により、製造事業場の設備、検査法、品質管理等について審査を行った結果、下記11事業場を認定工場として承認した。

認定年月日	認定番号	認定事業場名	認定の対象となる製品の名称
28・5・8	第57号	大成機工(株) 三田工場	水道用鑄鉄異形管
28・6・1	第49号	(株)清水合金製作所	水道用弁類全般
28・8・13	第42号	(株)清水鐵工所	弁類
28・9・21	第58号	日本ヴィクトリック(株) 神戸工場	伸縮可撓継手
28・10・14	第2号	(株)クボタ 京葉工場	ダクタイル鑄鉄直管 ダクタイル鑄鉄異形管
28・10・14	第3号	(株)クボタ 阪神工場	ダクタイル鑄鉄直管 ダクタイル鑄鉄異形管 ソフトシール仕切弁
28・10・14	第4号	(株)栗本鐵工所 加賀屋工場	ダクタイル鑄鉄管 ダクタイル鑄鉄異形管
28・10・14	第15号	(株)栗本鐵工所 堺工場	ダクタイル鑄鉄管
28・10・14	第29号	JFEエンジニアリング(株) JFE大径鋼管(株)	配管用アーク溶接炭素鋼鋼管 水輸送用塗覆装鋼管
28・10・14	第5号	日本鑄鉄管(株) 本社・工場／高崎工場	ダクタイル鑄鉄管 ダクタイル鑄鉄異形管
29・1・30	第26号	東亜外業(株) 東播工場	水輸送用塗覆装鋼管

(3) . 2 工業用水道管・弁類の委託検査

工業用水道において使用するダクタイル鑄鉄管、鋼管、硬質塩化ビニル管、弁類等の検収検査を（公社）日本水道協会に委託して行った。

(4) 工業用水道保険事業

平成27年度に創設した、工業用水道賠償責任保険及び工業用水道機械設備損害保険について、延べ21件の加入状況となっている。